

なでしこフリーランキング

FREE RANKING

順位	登番	選手名	総合P	
1	4482 岡山	守屋 美穂	98.9	→
2	4450 香川	平高 奈菜	97.8	→
3	4519 東京	清水 沙樹	88.0	↑
4	4590 福岡	渡邊 優美	87.5	↗
5	4546 埼玉	浜田亜理沙	84.9	↑
6	3435 岡山	寺田 千恵	83.8	→
7	4208 静岡	三浦 永理	81.8	↗
7	5088 大阪	高憧 四季	81.8	↗
9	5174 静岡	川井 萌	80.3	↘
10	4190 静岡	長嶋 万記	79.9	↑

向井美鈴が6年ぶりに優勝!! 絶好調選手が痛恨の勇み足



清水沙樹



向井美鈴

4月の女子戦は常滑で向井美鈴、桐生で守屋美穂、平和島で清水沙樹が優勝した。常滑の優勝戦は、カドから飛び出した五反田忍がまくったが、無

念のスリットオーバー。五反田が退いたタイミングで勝浦真帆と向井が繰り上がって首位争いとなった。ターンごとに勝浦が肉薄するが、向井が終始優勢に立ち回り、実に6年ぶりの優勝を飾った。

守屋は桐生で10節連続優出、2節連続優勝を決めた。女子戦では力の違いを見せつけ無双しているが、本稿締切直前の津で痛恨のフライングに散った。期末ということであまり影響しないかもしれないが、未消化のF休みがある間は、スタートはやや自重気味になるかもしれない。

好調の平高奈菜もFを切ってしまった。それも女子戦準優勝戦だったため、F休み明け後3か月の女子戦除外となり、レディースチャンピオンに出られなくなってしまうのが痛恨の極み。

※ランキングは最近2か月の勝率、2連対率、ST、優出、優勝などから独自の計算法でポイント(100が最高点)を算出し決定している。

最近好調選手 ※最近2か月と最近半年を比べたもの

順位	登番	選手名	総合P	+P
1	4519	清水 沙樹	88.0	31.3
2	4482	野田部宏子	74.4	17.9
3	4765	守屋 美穂	98.9	14.9
4	4017	向井 美鈴	69.2	13.5
5	4589	塩崎 桐加	68.9	13.1
6	3474	松瀬 弘美	66.3	12.8
7	4190	長嶋 万記	79.9	12.0
8	4590	渡邊 優美	87.5	11.5
9	5174	川井 萌	80.3	11.2
10	4733	赤井 睦	68.9	10.4

総合ランキング3位の清水沙樹の勢いが凄まじい。指標となるポイント差で30ポイントを超えたのは歴代最高クラスだ。その数字を押し上げたのはもちろん江戸川~平和島の2節連続優勝だ。江戸川では3コース、平和島では5コースからいざれもまくり勝ち。らしき爆発で最高の結果を残した。未踏破だった平和島で優勝したことで、地元東京3場を制覇。新期勝率も6点を超え、A2級復帰を果たした。

今後の女子戦スケジュール

5~6月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
	下関	常滑レディースオールスター														大村ヴィーナスシリーズ					芦屋オールレディース					多摩川オールレディース					津ヴィーナスシリーズ				

11位~20位

順位	選手名	総合P
11	大瀧明日香	79.7
12	田口 節子	79.3
13	魚谷 香織	78.5
14	勝浦 真帆	77.8
15	藤堂 里香	77.3
16	西橋 奈未	77.0
17	今井 美亜	76.4
18	細川 裕子	74.9
19	土屋 千明	74.7
20	野田部宏子	74.4

年間ランキング

順位	選手名	総合P
1	三浦 永理	96.6
2	守屋 美穂	96.0
3	平高 奈菜	89.5
4	田口 節子	89.0
5	遠藤 エミ	86.1
6	寺田 千恵	85.1
7	渡邊 優美	83.7
8	細川 裕子	82.5
9	浜田亜理沙	82.3
10	實森 美祐	80.5